

## 琴引浜の保全 —琴引浜の鳴り砂を守る会20年—

東山高等学校 地学部  
安松 貞夫



### 琴引浜について

琴引浜は、全長が約1800mあり、そのすべてが鳴き砂の浜です。また、琴引浜には波消しブロックなどのコンクリート構造物がなく、自然のままの状態を保たれた景勝の地であることから、網野町の文化財に指定されているほか、これまでに多くの百選等に選ばれています。

琴引浜の中央よりやや西側の場所は、足で踏んだり、こぶしてたくと「ドンドン」と鳴くことから、特に太鼓浜と呼ばれています。太鼓浜の海側には岩礁が突き出しており、これに続く岩盤が砂の下にあり、空洞があるため、共鳴して鳴くのではないかと考えられています。

百選地にも選ばれています

日本の白砂青松百選(1987)  
京都府の自然二百選(1993)  
残したい日本の音風景百選(1996)  
日本の渚百選(1996)

### 琴引浜ギャラリー



琴引浜の西部



太鼓浜付近

### 琴引浜の鳴り砂を守る会

琴引浜の鳴り砂を守る会は、1987年に地元住民を中心に設立され、さまざまな鳴き砂保護活動に取り組んできました。これまでにやってきた主な活動としては、浜辺の清掃、鳴き砂保護の講演会やシンポジウムの開催、中国やタイへの鳴き砂調査団の派遣、浜への流入河川の水质調査や水質浄化、漂着物展の開催、浜の背後地の植林等々が上げられます。

なかでも、1997年に起こったナホトカ号重油災害では、琴引浜における重油回収作業の中心的役割を果たし、元通りの美しい浜辺を取り戻すことができました。その功績が認められ、環境庁(当時)から「地域環境保全功労者」の表彰を受けています。



浜辺を清掃する会員たち



浜辺を清掃する会員たち



海の環境保護を考えるシンポジウム



琴引浜の漂着物展

### 全国初の禁煙ビーチ

網野町では、2001年に「美しいふるさとづくり条例」を制定し、琴引浜を特別保護区域に指定し、砂浜での喫煙、花火、キャンプ、炊飯など鳴き砂に悪影響を与える行為を禁止しています。

貴重な自然遺産である鳴き砂を守っていくために皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



特別保護区域指定看板



網野中学生が作成した啓発看板



浜辺をパトロールする会員

琴引浜鳴き砂文化館ホームページより

### 琴引浜鳴き砂文化館

琴引浜鳴き砂文化館は、(財)日本ナショナルトラストが整備を進めている全国6番目のヘリテージセンターとして建設されたもので、おそらく、世界で初めての鳴き砂をテーマにした体験学習施設です。内部の展示は、住民の皆さんが協力して手作りで仕上げたもので、木造の建物といっしょにほのぼのとしたあたたかさを感じられます。

設計は、和風建築の第一人者である吉田柱二氏によるものです。

### 鳴き砂体験コーナー



鳴き砂の体験は、琴引浜でしていたのが一番ですが、雨で砂が湿っていると鳴きません。しかし、文化館ではいつでも鳴き砂を体験することができますし、浜辺ではできない珍しい装置を使った鳴き砂も体験できます。

琴引浜鳴き砂文化館ホームページより

行事、活動	自然、生活	
1月	ヤブシバキ	
2月	京都府高校生理科研究発表会 ハルウソウコンパニオン 道の駅、イノリ祭り	
3月	卒業生進出し奉の感謝 雨天風島の砂出し	
4月	月末連休 キャンプ客	ワカメ、ハバロ祭り
5月		
6月	はだしのコンサート 丹後環境シンポジウム 夜遊 遊覧に浜掃除	スナドリソウ、アサギマダラ ササユリ、トキソウ モズク祭り
7月	海開き 国の天然記念物・名勝指定 鳴き砂を守る委員会 海の日 自然パトロール	ユウソク
8月	月末まで海水浴 鳴き砂保護 ネイチャークラブ 自然教室	エゾミソハギ
9月	文化祭 鳴き砂サミット	
10月	島津小学校で 漂着物のお話 兵庫県社祭り クリーンアップキャンペーン 鳴き砂記念シンポジウム 漂着物展 三輪先生ご逝去	エチゼンクラゲ漂着 雨天風島が砂に埋まる
11月	ネイチャークラブハウス創立記念式 紅葉が二輪車〜3月末 地学部発表	
12月		アオイガイ漂着

## 琴引浜をめぐる諸団体・組織

- **地元、自治体:** 京丹後市 掛津区 観光部
- **琴引浜の鳴り砂を守る会**
- **博物館組織** 鳴き砂文化館 研修センター 漂着物展  
ネイチャークラブハウス
- **全国組織と連携** 全国鳴き砂サミット 日本ナショナルトラスト  
クリーンアップ全国事務局 環日本海環境協力センター
- **地元 教育機関** 島津小学校 網野中学校 網野高等学校  
東山高等学校地学部  
子ども会 老人会

## 琴引浜をめぐる30年

(お手持ちの表をご覧ください)

	ポイント的な事項	研究・学習	成果・評価
1970	三輪茂雄教授 琴引浜訪問		
1976	進歩道計画に教授、町に要請		
1978			町指定文化財(名勝)
1982			町指定文化財(天然記念物)
1984	琴引浜観光資源調査		
1985		保護活用を考えるシンポ	
1986	リゾート開発計画		
	地学部の調査開始		
1987	鳴り砂を守る会発足		

## 鳴き砂シンポジウムからの発想・提言

「ハードは出来た。ソフト面の充実が厄介。地元は観光資源が出来れば、あとはそのまま。ソフトに金をかけぬ」三輪先生、鳴き砂文化館開館時  
2006年脳溢血 百家 ネイチャークラブハウス創設  
**大きな変化** 地元との付き合い変わる。  
見てもらう、から地域から学び、子供たちに学び知ってもらう。  
8月 化石レプリカ。10月 島津小学校で紙芝居  
10月 網野小学生と大ピーチクリーンアップ  
浜という現場で鳴き砂を知り、ゴミの実態を知り対策を考える。  
現場で実情を目の当たりにし問題を共有する、を改めて認識。これを「守る会」や地元が定例化できれば、浜のゴミ作業が仕事でなく面白い取り組みへ。興味関心を呼び覚まし、定着を。

## 琴引浜の魅力

鳴き砂、浜の凄さ。  
都市から近く大阪から2時間。荒らしさ優しさも織り成す「うらにし」。食べ物魅力 釣り、植生の多様さ。キャンプもさきに。

## 保全対策・問題点、地域づくり

問題はさまざま:掛津川 砂丘移動、利用密度  
地域づくり:万灯会、白滝の祭り、仕事、元気がある。  
地元が潤うかが鍵:観光客の車。金を落とさずゴミ落とす。おカネを落とさせる工夫。拠点型の観光に誘導。  
団塊世代:田舎暮らし・別荘希望。道路整備。都市域から2時間が希望距離。

## 守る会は何を、行政はどう取り組んでいくべきか【提言】

**守る会:定期的な学習・行動**  
住民に、民宿など観光団体に。学校、公民館などでの未来の社会人への。観光客への。鳴き砂文化館での学習。  
情報が入るよう動き続ける。→鳴き砂サミット、関係学会、各種グループなど  
大学・研究機関との普段の提携 → 海洋センター、ウオッチ館、  
**行政には** 鳴き砂文化館の拡充への協力 ソフト面の充実のために。  
教育委員会に学芸員配置 他の博物館との併用で検討を。ビジターセンター  
鳴き砂シンポジウムから考える081021、地元の人は遠慮がある。よそ者は関目八目、Uターン組の面白さ

## 琴引浜の鳴り砂を守る会 19年度役員

- 会長 松尾 庸介  
副会長 谷口 勲  
幹事 朝日 和彦ほか14名  
監査 宮本 肇、浜岡六右衛門  
事務局 宇野 貞夫、三浦 到、松尾 省二
- 顧問 三輪 茂雄 同志社大学名誉教授  
木村 正雄 東海大学教授  
敷田 麻実 北海道大学教授  
安松 貞夫 東山高等学校教諭  
原口 強 大阪市立大学助教授

## 18年度 事業計画

鳴き砂講演会  
琴引浜を国文化財指定について説明会  
日本鎗物学会 鳴き砂体験コーナー(大阪産業大学)  
網野中学 環境野外学習、事前学習  
はだしのコンサート 運営協力  
日本ナショナルトラスト 館長会議  
全国鳴き砂サミットIN 飯豊(山形)  
ソウル大学教授・学生の漂着物調査に協力  
ふるさとづくり条例 浜での啓発パトロール  
石臼シンポジウム 大垣市  
鳴き砂文化館展示委員会

東山高等学校地学部 漂着物調査支援  
ネイチャークラブハウス 支援  
掛津川の水質調査  
家庭の廃食用油の回収  
海浜清掃  
インターネットによる情報発信

### 海岸にて



### 琴引浜研修センター玄関



### ロマン系 ヤシの実



### ロマン系 ガラス玉



**非ロマン系 医療廃棄物**



**ネイチャークラブハウス  
オープニングセレモニー**



**A. 大地をつくる**



**B. 琴引浜の花**



**C. 海からのおくりもの  
動物**



**C. 海からのおくりもの  
植物**



**海からのおくりもの  
人工物**



**D. 琴引浜で染織**



**E. 漂着物で手作り**



**琴和会・子ども会と共に**



**化石レプリカ作り**



**島津小学校へ出前授業**

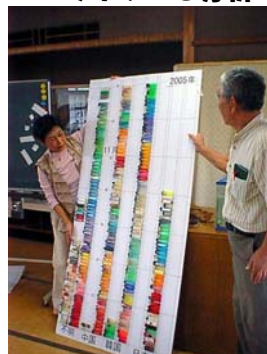
「知っている人？」 「ハイ」



**熱帯から海流に乗って  
モダマはこんなに大きい！**



**プラスチックが世界をめぐる  
ライターで分析**



**プラスチックは世界をめぐる  
ペットボトルで分析**



**鳴き砂・漂着物の学習**



**琴引浜大クリーンアップ作戦**



**琴引浜の魅力**



## 魅力



## 魅力 アサギマダラとスナビキソウ



## HP「琴引浜通信」をみてね

**1. 琴引浜紹介**  
a. どこにあるの？  
b. 何が有名？  
c. どんな人が遊べるの？  
d. イベント情報

**2. 琴引浜に育つ植物**  
a. 花  
b. 樹木

**3. 歩いてわかったこと**  
a. 浜歩き情報  
b. 花情報

**4. 施設紹介**  
a. ネットサーフハウス  
b. 磯歩きコース

**5. 手作りグッズ**  
a. 海苔巻  
b. 草花巻

メール  
リンク

**琴引浜通信**  
琴引浜の海、磯、浜に暮らす鳥たちの暮らしについて、わかったことを発信していきます  
最新更新日：2007.10.18  
リニューアルオープン

琴引浜海岸  
白砂青松の自然海岸  
磯歩きコース  
7月～9月（土曜・日曜）  
「全国自然歩道」認定  
「全国自然歩道」認定  
「日本自然歩道」認定  
「美しい日本の自然歩道」認定

琴引浜  
大分県大分市  
3007-10143

鳥飼舎ネットサーフハウス（定額貸出・無料貸出）  
オープン：2004.12  
リニューアルオープン：2007.10.18

三輪茂雄先生ご逝去

2007年10月22日